

天中コミスクだより 【学校運営協議会の紹介】

目的

伊丹市立学校運営協議会は、平成28年3月に設置されました。学校運営協議会（コミュニティスクール）とは、学校と保護者・地域の皆さんがともに知恵を出し合い、学校運営を行う仕組みです。

天王寺川中では、これまでも様々な学校の教育活動や地域行事などの保護者や地域の皆様にご協力をいただけてきました。学校運営協議会（コミュニティスクール）を導入することで、さらに地域とともに歩みながら、学校の教育目標やビジョンを具体的に学校・家庭・地域でともに共有し、力を合わせて子供たちの成長を組織的・持続的に進めることを目指していきたくて考えています。

大橋会長から

本校の学校運営協議会（コミュニティスクール）は、本年度で設置されて6年目となります。これまでも学力や生徒指導に関する問題や家庭学習・生活環境（制服・体操服）など学校が抱える問題について協議してまいりました。学校は、新型コロナウイルス感染症対応でこれまでの学校とは全く違う教育活動を進めざるを得なくなりました。この間も委員一同、地域や保護者の皆様方のお力を借りながら、天王寺川中学校の子供たちのためにできることを学校と協議し着実に進めてまいりました。

学校運営協議会（コミュニティスクール）については、いまだ地域や保護者の皆様方に認知されていないことも多々あります。そこで「天中コミスクだより」を発行して「学校運営協議会（コミュニティスクール）」とは何か、どのようなことをしていくものなのか等を紹介し、地域の皆様や保護者の皆様方に魅力を発信していきたくて思いますのでよろしくおねがいします。

天中・夢サミット開催

拡大学校運営協議会（R4.8.8）

学校運営協議会委員と生徒会役員で、よりよい学校をつくるために何ができるか話し合いをしました。



最近の取組

令和3年度は、標準服を改定することについて、教職員だけでなく、生徒や保護者、学校運営協議会の各委員から、多くの意見をいただき、熟議することにより、令和4年度の新1年生から新しい標準服の導入を実現することができました。また、本年度（令和4年度）は、熱中症対策の心配を少しでも緩和するために、体操服をできるだけ通気性のよいものに変更させることについて熟議しました。さらに、感染症対策や不登校対策等について、多面的に様々なご意見をいただくことができました。

笹崎 毅（本校職員）

西村 祐子（CSディレクター）

大西 美知子（保護司）

田中 いづみ（民生委員児童委員）

金子 和恵（少年進路相談員）



竹内 善一（本校教頭）

大橋 昭博（学校運営協議会会長）

中島 佳徳（前PTA会長）

清水 智枝（PTA会長）